

研究データ利活用協議会

RDUF

Research Data Utilization Forum

# 研究データ利活用協議会 2024年度 活動総括

---

研究データ利活用協議会

Research Data Utilization Forum

- ◆ 会員数の推移、企画委員
- ◆ 2024年度の活動総括
  1. 活動方針
  2. 企画委員会
  3. イベント
  4. 小委員会、部会
- ◆ 今後の活動予定
- ◆ 意見交換

## ◆ 会員数の推移、企画委員

## ◆ 2024年度の活動総括

1. 活動方針
2. 企画委員会
3. イベント
4. 小委員会、部会

## ◆ 今後の活動予定

## ◆ 意見交換

## 個人会員推移

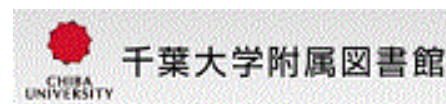
研究者(データ提供者、データ利用者)大学・研究機関のデータリポジトリ関係者、図書館員など幅広い分野から参加。現在の個人会員数は187名。



## 機関会員(8機関)

RDUFの目的に賛同し、活動に貢献する企業又は団体等。

2024年度新規加入なし。



### ◆ 11名

南山 泰之 (委員長) / 国立情報学研究所

熊崎 由衣(副委員長) / 千葉大学附属図書館

小野寺 千栄 / 物質・材料研究機構

小林 芳幸 / 国立国会図書館

権田 真幸 / 日本原子力研究開発機構

齊藤 千鶴 / 海洋研究開発機構

中島 律子 / 科学技術振興機構

林 和弘 / 文部科学省 科学技術・学術政策研究所

松本 崇博 / 高輝度光科学研究センター

村山 泰啓 / 情報通信研究機構

八塚 茂 / 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

◆ 会員数の推移、企画委員

◆ 2024年度の活動総括

1. 活動方針
2. 企画委員会
3. イベント
4. 小委員会、部会

◆ 今後の活動予定

◆ 意見交換

## 1. 2024年度の活動方針

---

1. 様々な知見やユースケースを共有し、関係者間のネットワークを構築・強化するための場をつくる。
2. 参加機関の現場の抱える関心事などについて検討し、その結果を「研究データ利活用協議会」の成果物（ガイドライン、ノウハウ集、事例集など）としてまとめることを目指す。
3. 普及・広報活動を強化し、「研究データ利活用協議会」のプレゼンス向上を図る。



## 2024年度の活動

	2024年						2025年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画委員会			★ 6/24			★ 9/27					★ 2/7	
総会												
2025年度企画委員信任投票											←★	決定
RDUF公開シンポジウム									★ 12/4			
JOSS 2024			★ 6/17-21									
小委員会提案受付・審査(通年)	←————→											
部会:データ共有・公開制度検討部会	————→											
部会:JDARN	————→											

申込者164名の盛況。  
会員によるライトニングトーク  
の他、初の試みとしてポス  
ターセッションも実施

会員が発表に参加

## 2. 企画委員会・総会

---

### ◆ 企画委員会（6/24、9/27、2/7開催）

- 活動についての議論
  - 広報の強化
- イベントの企画
- 部会活動の情報共有
  - 第2回 企画委員会にて実施。データ共有・公開制度検討部会の活動の近況、成果物や議論の進捗・悩み相談、企画委員会やRDUFの運営などに関して意見交換を行った。

### ◆ 総会（本日）

- 2024年の総括および2025年度の予定

## 3. イベント

### ◆ Japan Open Science Summit JOSS2024 (6/17-21開催)

- オープンサイエンスに関する日本最大の会議。RDUFは協力機関。
- 研究データへのDOI登録促進小委員会が発表。
- 多くの会員が議論に参加。

### ◆ RDUF公開シンポジウム

- 招待講演
- 小委員会/部会の活動報告
- 会員によるライトニングトーク
- ポスターセッション

参加申込164名の盛況。  
招待講演、ライトニングトークが好評。

## 4.小委員会について

---

### ◆小委員会について

- 研究データ利活用について議論するResearch Data Alliance (RDA)に倣って、有志による議論・意見交換を行い、研究データの利活用に向けて提言や指針をまとめる場として設置。
- 活動期間は1年間。(延長、再設置可能。)
- まとめられた提言などは成果物として公開し、活用を図っていく。
- RDUF会員であれば参加可能。

### ◆活動内容

グループ討議、全体討議、外部発表 等。

最終的に成果物を取りまとめ、公開する。

## 小委員会について ～過去の活動と成果物～

小委員会名	活動期間	主な目的	成果物
研究データのライセンス検討プロジェクト小委員会	2017年 10月～ 2019年 3月	研究データの利活用を促進するためには、政策面でのアプローチだけではなく、利害関係者自身がデータにライセンスを付与し、法的な相互運用性を明確にしていくことが重要となる。上記を達成するため、小委員会ではコミュニティとの議論を通じ、 <u>ガイドライン策定のための基礎資料及び事例集を作成する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究データのライセンス表示ガイドライン</li> <li>ライセンスの整理表</li> </ul>
研究データ・ライセンス小委員会	2019年 7月～ 2020年 1月	「研究データのライセンス検討プロジェクト」小委員会で作成したガイドライン草案につき、 <u>バージョンアップに向けた論点出しを兼ねた、各分野(学術、産業、官庁等)に対する普及活動を行う。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究データの公開・利用条件指定ガイドライン</li> </ul>
ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク(JDARN)小委員会	2020年 1月～ 2020年 12月	研究データを安定的に公開する為には信頼できるデータリポジトリであることが重要。 <u>我が国のリポジトリ関係者間で共通する問題と国際標準等の先進事例を集め整理する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究データリポジトリ運営体制表</li> <li>リポジトリにおける役割・ドキュメント・アクション</li> <li>研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン(JDARN案)</li> <li>CTS要求事項とアイテム</li> </ul>

## 小委員会について ～過去の活動と成果物～

小委員会名	活動期間	主な目的	成果物
リサーチデータサイ テーション小委員会	2019年 1月～ 2019年 12月	研究データの引用・被引用関係を記述し活用する 上での、論文執筆時からデータ検索までの各業務 工程における課題を抽出・整理する。 研究データ引用に関わるメンバーが集まる場を作 ることで、我が国における研究データ引用の実現 に向けての人的ネットワークを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ引用原則の共同宣言</li> <li>リーフレット「研究データDOIを付与するには？5分でわかる研究データDOI付与」</li> <li>「学術雑誌のデータ公開ポリシーの変遷:2014年と2019年の比較」</li> </ul>
人文学・社会科学のデー タ共有における課題検 討小委員会	2021年 10月～ 2023年 3月	人文学・社会科学のデータ共有における課題を解 決するために国内のデータアーカイブ等の事例を 共有し、提言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ共有の取り組みに関する事例集</li> </ul>
研究資料・実験機器への PID付与検討小委員会	2022年 4月～ 2023年 9月	研究DXの推進には、最初からデジタル(ボーンデジ タル、born-digital)な対象に加え、研究に用いた試 料、史資料、機材等の有体物に関する情報もサイ バー空間において参照できるようにすることが不 可欠である。これら有体物としての研究資源に付 与する永続的識別子(PID)とこれに付随するメタ データの管理と利活用に関する調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PIDINST日本語ドキュメント</li> </ul>

## 小委員会について ～過去の活動と成果物～

小委員会名	活動期間	主な目的	成果物
研究データへのDOI登録 促進小委員会	2021年 11月～ 2024年 6月	現在の研究データへの DOI 登録に関する運用経験、実情、課題等を調査・議論し、「 <u>研究データへの DOI 登録ガイドライン</u> 」の改定、あるいは現状に即した新しいドキュメントを作成することについて検討する。「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版等 キュメントや、検討・調査結果等を成果物としてとりまとめることで、研究データへの DOI 登録促進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「研究データへのDOI登録ガイドライン」改訂版</li> </ul>

## 4. 部会について

---

### ◆部会について

小委員会活動等によって得られた知見の継承と展開を長期的、継続的に行うことを目的とし、活動期限に縛られない枠組みとして設置。

### ◆活動内容

小委員会成果物の更新や利活用促進、継続的な議論、コミュニティの拡大等。



## ◆ データ共有・公開制度検討部会

「RDUF 研究データライセンス小委員会」による活動の継承と展開を目的とする。主な活動として研究データの公開・利用条件ガイドラインの作成と普及等を行っている。

## ◆ ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)

「JDARN小委員会」活動の継承および展開を目的とする。  
主な活動としてデータリポジトリ整備・運用ガイドラインの草案執筆等を行っている。

～小委員会・部会の成果物はRDUFWebサイトにて公開中～

<https://japanlinkcenter.org/rduf/deliverable/index.html>

- ◆ 会員数の推移、企画委員
- ◆ 2024年度の活動総括
  1. 活動方針
  2. 企画委員会
  3. イベント
  4. 小委員会、部会
- ◆ 今後の活動予定
- ◆ 意見交換

## ◆次年度企画委員 選出手続き

2025年2月～3月に実施予定。

信任投票は個人会員によって行います。皆さまのご協力をお願いいたします！

## ◆新規小委員会の設置

通年で受け付けています。

- ◆ 会員数の推移、企画委員
- ◆ 2024年度の活動総括
  1. 活動方針
  2. 企画委員会
  3. イベント
  4. 小委員会、部会
- ◆ 今後の活動予定
- ◆ 意見交換